

分離型紙オムツ処理による介護負担低減（パナソニック株式会社）

背景 避けられない社会課題の一つは、少子高齢化

- ・2025年には高齢者が30%を超え、要介護者数が増加
- ・今後、介護人材不足が深刻な社会課題になると想定
- ・介護の現場での困り事は、排泄の問題

排泄の問題 介護する側、される側の双方において、精神的・労力負担

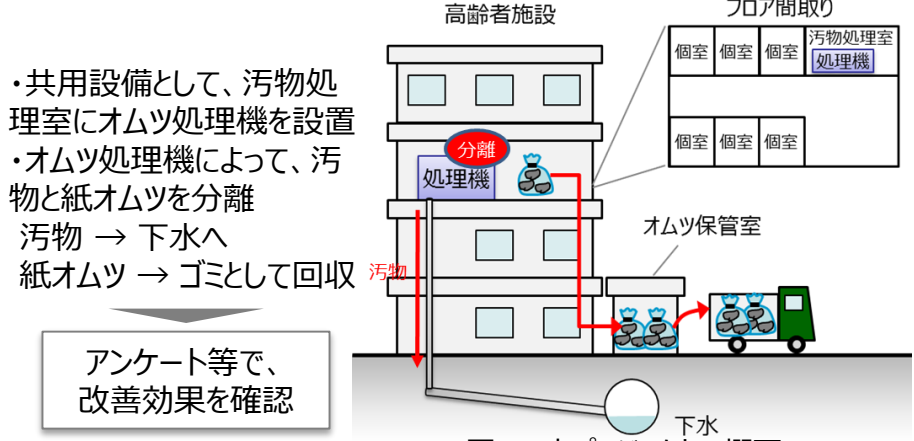
解決策 必要

目的 オムツ処理機で、介護負担を低減

- ・排泄ケアでの課題の一つに、使用済み紙オムツ処理がある
- ・使用済み紙オムツは、汚い、臭い、高張るもので、ゴミ出し作業は重労働であり、収集日までの保管によって生じる臭いを含む衛生上の問題あり

実証内容 高齢者施設で、実証評価を実施

- ・使用済み紙オムツを 1/3 に減量化（減容含む）するオムツ処理装置を製作し、高齢者施設に設置
- ・介護にまつわる負担が介護者・要介護者の双方にとって軽減されるかどうかの検証を実施

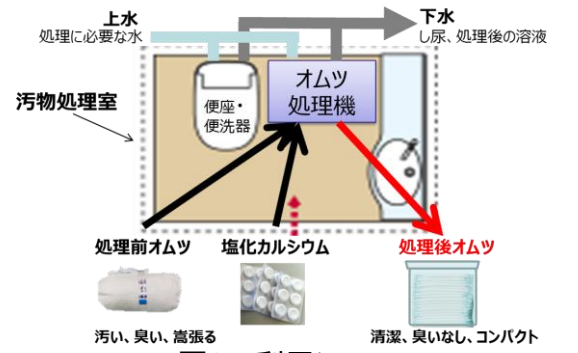


オムツ処理機概要

・使用済み紙オムツから排泄物を分離させ、分離した汚物・し尿は下水に流下させ、紙オムツはゴミとして回収する『分離方式』（高吸水性ポリマーから水分を排出させるために、塩化カルシウムを使用予定）

- ① オムツ投入
- ② 減量・減容化工程
- ③ 脱臭・脱水工程
- ④ パッキング工程

図2：プロセス概略



本プロジェクトの目標

- (i) 2018年度目標
紙オムツ処理機初号機を製作して高齢者施設に設置し、オムツ処理を実施することで、ユーザビリティ評価を実施
- (ii) 2019年度目標
2018年度 実証結果を元に改善機を製作し、複数個所で、より多くの方々を対象に評価することで検証精度向上

実証体制

